

フランスの休日

Molly's Journal vol. 13

今日は何を書いたらいいか、困ってしまいました。クリスマスのことはもう書いてしまったし、日本でのお正月のことは、まだ知らないので書けないし…。でも今度のお正月がどんなに特別な、また興味深いものになるうとも、二年前フランスに住んでいた時の新年のお祝いの時ほどのインパクトを持つのは難しいかもしれません。多くの人が特にフランスやフランスの文化に興味があるようなので、今日は私のフランスでの生活と今の生活との違いを書こうと思います。

大学でフランス語を勉強していたので、フランスのリヨンに一年間留学しましたが、それまで日本以外に外国へ行ったことがなかったので、外国での生活がどのようなものなのか想像できませんでした。数年間、フランス語を勉強していたものの、スピーキングにはあまり自信はなく、その点では今、日本語のスピーキングにも共通する面があります。最初の頃は間違えるのを恐れ、おどおどしていて、こんなに長くフランス語を勉強してきたのにどうしてもとうまく話せないだろう？とっていました。幸いホームステイをしていたのと毎日フランス人の学生と一緒に登校していたおかげで、少しずつ私のフランス語は上達しました。フランス語を上手く話せるようになって、英語なまりが抜けなくて、落ち込むこともありました。フランス語の発音はとても難しく、上手く話せた時ですら、フランス語圏の人には私がアメリカ人だとはっきり分かるようでしたが、リヨンの人はとても親切だったので、普段はこのことは気になりませんでした。しかし、パリへ行った時は、アメリカ人ということで、あまりいい扱いをされずに嫌な思いをしたこともありました。

それでもフランスでの日々は素晴らしいものでした。ホストファミリーはいつも忙しく、留守がちだったので、ほとんどの休みの日は友達と街に出掛けることが多かったです。毎朝、学校に行く途中、近所のパン屋さんで朝食をとって、通学の地下鉄に乗っている15分間に新聞を読んでいました。フランス語の勉強でよかった事は、読むことで勉強が進められたことです。漢字を勉強するのは好きですが、日本語の新聞を読めるようになるには相当の時間がかかることでしょう。たとえ完璧には理解できなくても、フランス語は、英語と同じアルファベットを使った言語だから読みやすかったです。授業に出て、読書したり、宿題をしたり、友達とカフェに行くという毎日で、友達のほとんどはいろいろな国から来ている学生でしたので、皆いつもフランス語で話すようにしており、ずっと英語で話しているということはありませんでした。

12月までにはフランスでの生活にすっかり魅了されていました。ある日突然誰かがスイッチを入れてくれたように、フランス語での会話がスムーズにできるようになりました。日本語の勉強と日本での生活に慣れることはそれよりもっと難しいものではありませんでしたが、よく似た経験をしています。新しい環境では混乱し、疲れ、辟易し、そして大好きになるという状態がいつにやっけてきて、本当にそこでの日常生活に慣れ、幸せを感じる

までには、数ヶ月かかると思います。

フランスでのクリスマスは、温暖な気候という点では日本と似ていました。寒すぎるということなく、クリスマス休暇前後はほとんど雨でしたが、家族がフランスへ来てくれたので、クリスマス気分を味わうことができました。この時、兄は日本に住んでいて、私達は二年も会っていなかったなので、家族みんなでいられることをとても幸せに思いました。クリスマスにはパリに行きましたが、感激はありませんでした。エッフェル塔は思ったほど高くなく、お店などほとんどのところがクリスマスの休暇のために閉まっていた。そんな中、なんとか母と買い物をし、ノートルダム寺院のクリスマスミサに出かけ、それからロンドン行きの特急電車で駆け込みました。ロンドンも雨で、寒かったのですが、家族で初めての土地を見て廻るのは楽しいものでした。家族めいめいが別行動している時、私は当時イギリスに留学していた高校時代の親友と会い、新年を一緒にすごすためパリへ行きました。

話が長くなるので、短縮しますが、この時の旅では、通りでたくさんの酔っ払いにからまれたり、真夜中に花火を見に行くのに道に迷ったり、拳銃の果てにはホテルの部屋には蚤がいるという有様でした。幸い私達は一緒にいるとどんなことをしても楽しめる仲でした。そうでなければひどい旅になっていたかもしれません。たとえその国の言葉を理解できたり話せたりしても、外国に住めば、いろいろな困難がつきものです。私は、こういうことが人生を楽しくさせるものだと思います。さんざんな目にあつた経験の方が、これまでアメリカですごしてきたどんな新年の思い出より鮮明で、楽しいものになっています。また自分の国ではあまり嬉しくない体験の方が、新しい土地では思い出深いものとなることがあります。

それがこの冬休みは日本に残ろうと思った理由です。約 1 ヶ月前、私は本当に家に帰りたと思っていたのですが、その誘惑と戦いました。フランスに住んでいたときのようにものごとが進めば、ちょうど今の時期には何か楽しいものが待ち受けているだろうと思っていました。その判断は正しいものでした。新年を日本の友達と過そうという計画ができたのです。タイやベトナム、韓国に旅行も行かないし、ほとんどの友達のように自分達の国へ帰りもしませんが、きっといい冬休みになると思うし、日本のユニークな新年の迎え方を経験できるでしょう。みなさんも良いお年をむかえられるようお祈りしています。では来年、またお会いしましょう。